議題1：IT推進員の配置について

市 名	各 市 の 状 況
名古屋市	本市では、「名古屋市行政情報ネットワーク運用管理事務取扱」及び「ITサポーター設置に関する定め」により各所属にITサポーターを設置しております。 主な職務としては、所属でのパソコン等の運用管理及び障害対応や所属職員への支援、行政事務の情報化の推進等を行っています。 また、毎年「ITサポーター研修」としe-ラーニングを実施しています。その他、事務で利用するExcelやAccess等の研修を行っています。
豊橋市	豊橋市では、平成１３年度に内部情報システム導入を契機とし、全庁的な情報化を目的として情報化推進員及びOAリーダーを設置しています。情報企画課は、情報化推進員及びOAリーダーの支援をし、OAリーダーへの職員研修を年１回実施しています。 住民情報システムについては、平成２１年度に最適化計画を策定し、平成２２年度から平成２８年度で段階的にホストコンピュータのオープン化を進めております。システム構築・運用において担当課で必要に応じてシステムの担当者を配置し、情報企画課は各課を支援する体制をとっております。
岡崎市	本市においては、個別業務システム所管課へIT推進員又は情報システムに係る専門的な職員の配置は、行っておりませんし、今後もその予定はありません。 本市もホストコンピュータの廃止に向けて、順次基幹システムのオープン化を進めておりますが、各課に管理運用の負担が生じないように、基本的にはクラウド型への移行を予定しています。クラウドサービスの提供がされないシステムについては、情報システム課がオープン化後も管理運用を行っていく予定です。 過去にオープン化したシステムでは、業務主管課の特定の職員のスキルに依存し、あるいは、特定の職員の負担が大きくなるという事案が見受けられたため、そういった形は避けたいと考えています。
一宮市	情報化推進主任者及び補助者を各課に配置しています。 業務内容は次のとおりです。 1.自課職員への情報セキュリティについての啓発 2.自課職員で実施可能な保守作業等の指揮（ソフトウェアのバージョンアップ等） 3.障害時の初動調査及び復旧作業への協力 4.パスワードの受理及び課内周知 5.自課所有の情報機器の棚卸し 6.自課職員のパソコン操作に関する相談窓口 7.情報推進課への各種作業依頼 成果としては、各課職員の情報セキュリティ等に対する意識を高める効果と情報部門の作業分散の効果が出ていると思われます。 また、研修等の実施状況につきましては、eラーニングによる情報セキュリティ研修などを行っています。
瀬戸市	配 置：有（平成14年4月1日から実施） 業務内容： ・職員端末のトラブル対応をはじめとする運用サポート。 ・業務プログラム,WORD,EXCEL等の操作サポート。 ・運用時のセキュリティ遵守の監視。 成 果： 各種サポートを積み重ねることにより情報リテラシーが向上し、情報課職員と同等の役割を担うことが可能となった。 また数年で交代するため、多くの職員がスキルアップしている。 研 修： 職員端末更新やシステムの大幅変更など全庁にかかわる場合の集団研修。 個別案件ごとの指導。

市 名	各 市 の 状 況
半田市	平成１７年までは、各課１名、パソコンに詳しい職員をEUC（エンドユーザーコンピューティング）委員に指名し、研修を実施した上で、インターネットに繋がるパソコンを配布、ホームページの作成、セキュリティ教育の普及など各課のIT推進を進めてきました。 しかし平成１９年、ホストコンピュータからパッケージシステムへの切り替え段階で、各個人へ１台パソコンが配布されると、セキュリティ教育やホームページ作成も各個人のパソコンを通じて行えるようになり、また職員も普段からパソコンを利用する機会が増えたことで苦手意識も減り、EUC委員制度もその役割を終えました。 平成２１年、完全にホストコンピュータからの切り替えを終えると、情報部門の縮小を行いましたが、替わりにIT推進委員を配置するのではなく、システム委託業者にヘルプデスク設置を義務付け、各課のシステム運用サポート、問合せ窓口として運用を行ってもらっています。 ヘルプデスクの技術レベルは契約時にこちらから提示しており、一定レベルのスキルを持った人材が対応を行っています。（※内部で研修・勉強会等は定期的に実施しているそうです）
春日井市	IT推進員は配置していない。 平成26年10月に稼働を予定しているパッケージシステムの運用に際し、原課職員のEUCによるデータ活用が多くなるため、Excel を中心とした研修を予定している。
豊川市	各課に１名の情報化リーダーを配置しています。 （情報化リーダーの役割） ・豊川市情報化推進計画に掲げる事業の推進 ・各課の情報セキュリティ対策の推進 ・情報化施策の発案 ・情報化リーダー会議への参加（年３回程度）
津島市	IT推進員の配置はしていません
碧南市	碧南市では、PC操作やアプリケーションの問い合わせ窓口として各所属に過去に情報化推進員を専任してもらっていた。職員のPCやアプリケーション操作の慣れが進んできており、基本的な操作については、習熟してきている。情報システム担当者への問い合わせについても、日に数件ほどあるが、簡易的なFAQを整備しているため、それを参照することにより職員でも対応できるようにしている。以上のことにより、現在では、情報化推進員の専任を行っていない。 また、職員に対してのアプリケーションの研修については、幼稚園・保育園の先生に対しては操作に不慣れな職員が多いため要望があれば研修を実施することがある。
刈谷市	IT推進員は配置しておらず、その予定もございません。
豊田市	⑴データ取扱担当者 ［配置］ 基幹業務を主管する所属の関連する担当に2名程度選任 ［根拠］ 豊田市電子計算機処理管理運営規程 ［役割］ ・情報システム課とのデータ、帳票等の受け渡し ・電算処理計画の管理 ・法改正対応、事務改善のためのシステム改修における仕様検討及び稼動確認 ［研修］ 平成23、24年度、データ取扱担当者に限らずシステムの運用に携わる担当者及び該当所属の所属長を対象に研修を実施。内容は以下のとおり。 所属長向け：①事務処理ミス、情報セキュリティ事故等の防止策と危機管理 ②システムに対する職員の関わり方とシステムの安定稼動 担当者向け：①日々のシステム運用における留意点と事務処理ミスの防止に向けた取り組み事例紹介 ②制度改正、事務改善によるシステム改修作業の手順とポイント ※H25年度も同様の研修を実施する予定。

市 名	各 市 の 状 況
豊田市	(2)情報化推進員（情報セキュリティ） [配置] 各所属・施設に「概ねパソコン10台あたり1名」の割合で配置 [根拠] 情報セキュリティ基本要綱 [役割] ・情報セキュリティ責任者（所属長）が実施するセキュリティ対策の補助（所管する情報資産の管理運営、課等における情報セキュリティに関する作業） [研修]] 年1回、各所属・施設の情報化推進員（複数配置されている場合は代表1名）に対して情報セキュリティに関する集合研修を実施（内容は不定）
安城市	配置の有無　　無（平成25年度廃止） 〇現状 平成24年度まではICTリーダーが対処し、それでも分からない場合は情報システム課に問い合わせることとなっていた。 しかし、ICTリーダーでなくてもパソコンに詳しい職員で対処できたり、Windows7導入に伴うセキュリティの強化（管理者権限）により、各課に配置したICTリーダーでは対処できないケースが増えてきている。 また、個々のトラブルへの対応は、昨年度導入した資産管理ソフトを使用して、情報システム課職員が遠隔操作により直接対応する方が効率が良い状況にある。 〇廃止の理由 ①個人用パソコンが普及し、各職員のスキルも上がってきている。 ②また、ICTリーダーでは対処できない専門的な問い合わせが増えたことにより、直接情報システム課に問い合わせることとした。
西尾市	IT推進員の任命は特に行っておりません。 各課の電算担当者を報告してもらい、該当者に対して毎年電算研修を行っています。
蒲郡市	蒲郡市では各課情報系端末の把握および軽微な不具合対応を担当するため、各課にIT推進委員を配置しています。しかし、IT推進委員に対して特別な研修などは実施しておらず、単に連絡員的な業務を行っているに過ぎません。 当市においてもホストコンピュータからパッケージステムに向けた移行作業を進めいているところであり、IT推進委員を含めた組織全体の見直しの必要性を感じています。 各課のシステム責任者には新業務系システムを中心とした知識の習得、IT推進委員にはネットワークに関係した知識など、それぞれの担当者のレベルアップと役割の見直しを図り、連携を取りながら新システムの管理・運営ができる体制づくりを目指したいと考えています。
犬山市	本市でも、平成２４年度から本年度にかけて「ホストコンピュータ」を廃し、新しいパッケージシステムへの移行作業を実施しています。現在は、処理の大半を情報管理部門が担っていますが、移行後は御市のように各課に処理運用業務をシフトしていきたいと考えています。 このような状況であり、現在「IT推進員」は配置しておりませんが、移行後の業務処理の円滑な運用に向けて検討すべき制度の一つだと認識しています。
常滑市	常滑市ではIT推進員の配置はありません。 しかし、最適化事業でベンダーとの調整やシステム対応の相談・連絡先として、原課から各業務システムの責任者を毎年選定しています。
江南市	当市では、平成18年度より基幹系業務電算担当者連絡会議を平成19年度より情報化推進担当者連絡会議をそれぞれ実施しています。基幹系の連絡会議では精度の高い電算業務の実施を目的とし、主に基幹系の業務を実施する担当者を主に、情報化推進連絡会議では情報機器の積極活用と電子自治体の推進のため、すべての課でそれぞれ担当者を選定して会議を開催しています。 担当者には、会議の内容を課に持ち帰り、課内でも情報を共有し市役所全体で精度の高い業務が維持できる環境づくりをするよう依頼をしています。

市 名	各 市 の 状 況
小牧市	IT推進員の配置はありません。
稲沢市	電子計算機処理取扱主任者の設置を規程で定めていますが、事務連絡など総務的な役割を担っています。実務に関しては、電算担当職員が担っていますが、その役割や人数などは課により大きく異なります。各課のシステム運用スキルアップのための啓発活動の必要性は強く感じていますが、具体的な対策は実施していません。また、実施は困難な状況です。
新城市	新城市においては、IT推進員の配置はありません。 （各課に電算取扱主任を配置し、情報部門から情報システム等に係る管理・運用の一部作業を依頼しています。）
東海市	情報化の推進を図るため、各課等にその長が指名するIT推進員を置いています。具体的には、各課の意見を集約したり、情報化推進計画策定時の策定委員を努めたり、新しくシステムを導入する場合研修を受講し担当に教える等行っています。 なお、業務システムの管理・運用を目的に配置しているわけでなく、IT推進員に限定した研修は特に実施していません。
大府市	（1）IT推進員設置の有無 大府市情報化委員会設置要綱に基づき、各課等に1名の情報化推進員を置き、各課等の情報化推進に関するリーダーとしての位置付けをしています。 （2）IT推進員の業務内容や成果 主に以下の6つの作業を行っていただいています。 ①情報化推進会議に出席し、情報化推進に関する情報や決まりごとを各課等に周知を行う ②総合計画の部門別計画として策定された情報化計画による情報化の施策を実現するため、情報化実施計画への要求事項のとりまとめや説明を行う ③情報通信機器配置図のメンテナンスを行う ④情報セキュリティに関する研修を受講し、必要な知識を身につける ⑤情報セキュリティ内部監査に監査員または被監査者として監査をおこなう ⑥各課等BCPの見直しを実施し、手順書及び事業継続計画を最新に維持する （3）IT推進員への研修等の実施状況 ①情報セキュリティ研修（対象は新任の情報化推進員） 情報セキュリティ内部監査を実施するための前提知識を学ぶ ②LASDEC主催 e-learningの受講 H24実績：40名，72講座 （補足） 大府市でも平成23年度末に税等基幹系システムを再構築し、システムの運用を情報担当主体から各課主体にしました。 サーバ系システムではデータをCSV形式等で抽出できる機能があり、各課でデータ加工することで必要な情報を自ら手に入れることができることがメリットとして挙げられますが、各課では今まで情報担当が処理を行った結果（成果物）を受領していただけなので、負担感が高く、意識改革ができるかどうかがポイントかと思います。 初回処理は各課の作業に立会いながら、マニュアルの整備を促し、自らのシステムという意識を持たせるような取組が必要かと思います。
知多市	議題要旨のとおり、IT推進員の設置を検討中です。
知立市	知立市では、ホストコンピュータを撤去して平成25年度よりパッケージシステムを導入しました。そのため、各課で業務システムの取り扱いを行うようになり、今後は情報部門の縮小を行っていく予定です。 また、IT推進員の配置は行っておらず、現在は配置を行う予定もありません。

市 名	各 市 の 状 況
尾張旭市	本市では、各課での情報化推進の主導的な役割を担うことを目的として、平成２４年度より各課に情報化推進員（通称「iサポーター」）を配置しています。業務内容は主に全庁型情報システムの導入及び更新時の操作説明会への出席や、ホームページの編集、更新及び管理で、これまでに新グループウェア及びホームページ管理システム（CMS）導入時に「iサポーター」を対象とした操作研修会を実施しました。
高浜市	各所属に個人情報保護主任者を兼ねる情報化推進委員を置き、情報化推進委員会を組織し、セキュリティポリシーの遵守や庁内LANの運営、情報化の推進等、情報グループと各グループの連絡・調整にあたっている。
岩倉市	〔配置の有無〕 情報処理リーダーを配置している。 所属長及び施設長を情報処理責任者とし、その情報処理責任者が情報処理リーダーを指名する仕組みとなっている。（各グループ1名程度） 〔業務内容〕 ・情報処理責任者をサポートし、所属内におけるあらゆる情報化関連の事項について、他の職員の中心的存在となり、指導や助言を担うこと ・所属の職員及び外部の委託業者に対するセキュリティポリシー及び関連法令等の遵守指導 ・情報機器、情報システム、ネットワークの適正な利用の指導 〔研修〕 ・年1回
豊明市	[IT推進員の配置] 「情報プロジェクトリーダー」を配置（各部２名） [活動内容・成果等] ・ 所属部内における連絡調整、問題・意見抽出、部内の情報システムの導入、管理運営に関する諸問題の調査・研究（庁内最適化に関するワーキンググループ活動による研究・報告等） ・ 研修として毎年１～２回程度、勉強会を実施
日進市	各課におけるIT推進員の配置は、ありません。 IT推進員の配置については、現在検討中です。
田原市	毎年、各課からパソコンリーダーが選出されています。 業務としては、パソコン及びシステム等の周知及び調査物を依頼することが多いです。 なお、特に現在、パソコンリーダー向けの研修は行っていません。
愛西市	IT推進員の配置はありません。
清須市	清須市では、システムの管理・運用について、情報システム部門で一括管理しており、基本的には業務担当課はシステムを利用するのみです。 そのため、特に各課へIT推進委員の配置はしていません。 その他に、情報システムの円滑な運用の具体的な調整をするため、清須市情報システム担当者会を設置し、各課から担当者を選任して、管理・運用について情報システム部門との連絡調整を図っております。
北名古屋市	IT推進員は配置していません
弥富市	当市は、ホストコンピュータではなくパッケージシステムで運用しております。 原課でシステム運用している業務もございますが、多くは情報担当で管理しておりますので、IT推進員等の配置は行っておりません。
みよし市	本市においても平成１２年度より集中管理から各課による分散管理を図ってまいりましたが、推進員的な職員配置や選任などは行っていません。 過去に電算（情報）経験職員をシステム保有課へ配置がされたこともありましたが、定期的な人事配置がされている訳ではありません。 情報担当職は例年専門研修セミナーに参加し、一般職員の希望者には、e-ラ-ニング研修等行っております。 また各部の代表次課長で構成した情報化推進員会を設置し、各種協議・検討を行っております。

市 名	各 市 の 状 況
あま市	配置なし。
長久手市	本市では、情報通信技術を活用した事務事業の効率化及び住民サービスの向上を円滑かつ適切に推進するため、毎年各課に情報化推進員を推薦（指名）しています。 当初は、情報機器における障害対応などの一次窓口としての機能のほかにも、システム選定における審査員などの役割も担わせています。